

岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 三次高野線 測量設計業務委託 (道路災害防除)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor. No. 2	調査位置	広島県庄原市口和町 地内	北緯	34° 59' 01.2272"
発注機関	広島県北部建設事務所 庄原支所	調査期間	令和2年 5月23日～ 令和2年 5月29日	東経	132° 52' 03.4740"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	TP 570.96m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	12.00m	度	0°	向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
		地盤勾配	35° 鉛直	使用機種	東邦D0-D型
		エンジン	ヤンマー(株)製 TF-90型	ポンプ	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コアの形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 [cm] RQD [%]	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験					室内試験	削孔状況	状況					
															N	深	打撃	50	自沈				位置	削孔速度 (mm/分)	削孔壁保護	コアチップ・ビット	給回
	569.96	1.00	標準じり砂	茶～褐灰	w3						CL	100	GL-0.0~0.2mまで表土。GL-0.2m以下、砂および2~70m程度の角礫よりなる。所々、植物根を混入する。主に岩片状コアをなす。全体に亀裂に富む。亀裂面は風化し褐色を呈する。部分的に細礫状となる。水平方向より40~60°程度傾斜した亀裂が多く認められる。GL-1.25m付近、高角度の亀裂間に植物根混入。	5/25 無し	0	1.00	50	50	50	50	5/25 40	43	66	W/D	0	0	WJ 0
	568.76	2.20	流紋岩	淡褐灰	w1						CM	100	2.2m以下、主に短柱状～岩片状コアとして採取される。岩片は極めて硬質であるが、亀裂面は風化し褐色をなす。亀裂の方向は水平面に対し垂直方向、40~50°傾斜したものの概ね水平方向のものが主に発達する。5.0~5.2m、5.5~5.8m、それぞれ鉛直亀裂に沿って流入粘土が厚く付着。	5/25 40	50	2.00	貫入不能	50	5/25 40	29	66	W/D	0	350	WJ 3		
			流紋岩	暗～褐灰	w1						CM	100	8.9~9.2m、傾斜80°の開口亀裂に沿って流入粘土を挟在。	5/25 40	50	3.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w2						CM	100		5/25 40	50	4.00	貫入不能	50	5/25 40	36	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w2						CM	100		5/25 40	50	5.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w1						CM	100		5/25 40	50	6.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w1						CM	100		5/25 40	50	7.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w2						CM	100		5/25 40	50	8.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w2						CM	100		5/25 40	50	9.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w2						CM	100		5/25 40	50	10.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
	568.96	12.00			w2						CM	100	11.0~12.0m、岩片状(一部角礫状コア)として採取される。亀裂面に褐色の酸化物が薄く付着する。	5/25 40	50	11.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		
					w2						CM	100		5/25 40	50	12.00	貫入不能	50	5/25 40	21	66	W/D	0	350	WJ 3		